

情報・システム研究機構 経営協議会（令和5年度第1回）議事要旨

日 時： 令和5年6月14日（水）15：30～17：50

形 式： 情報・システム研究機構会議室及びWeb会議

出席者：東信彦委員、大野英男委員、川添雄彦委員、國井秀子委員、五神真委員、
高橋真理子委員、竹村彰通委員、藤井輝夫委員、大和裕幸委員、
喜連川優委員（議長）、椿広計委員、中村卓司委員、小酒井克也委員、
中野美由紀委員、黒橋禎夫委員、花岡文雄委員、仙波秀志委員、中川健朗委員

オブザーバー：吉武博通監事、門田隆太郎監事

陪席者：本部事務局・研究所事務担当者

○議事に先立ち、議長より本会の成立要件の確認及び各委員の紹介があった。また、本会議の規則の確認を行い、副議長に椿広計委員を指名した。

○議長より、令和4年度第6回議事要旨の確認が行われた。

議 題：

【審議事項】

（1）組織運営規則の一部改正について

小酒井委員より資料1-1, 1-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会で審議することとなった。

（2）役員退職手当に関する業績勘案率について

議長より資料2-1, 2-2に基づき説明があり、審議を経て、機構長が原案のとおり業績勘案率を決定した。

（3）就業規則の一部改正について

小酒井委員より資料3-1～3-3に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、過半数代表者に意見照会することとなった。

（4）特定有期雇用職員就業規則の一部改正について

小酒井委員より資料4-1～4-3に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、過半数代表者に意見照会することとなった。

（5）令和6年度概算要求について

小酒井委員より資料5に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。なお、会議後の軽微な修正について機構長に一任することが

了承された。

(6) 令和4事業年度財務諸表について

小酒井委員より資料6-1、6-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、文部科学省に提出することとした。

(7) 令和4年度の自己点検評価の確認・自己点検結果の公表について

椿委員より資料7-1、7-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

【報告事項】

(1) 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定について

椿委員より資料8-1～8-3に基づき、第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定について報告された。

(2) 令和4年度監事監査報告

吉武監事より資料9-1、9-2に基づき、令和4年度監事監査について報告された。

(3) 令和5年度監事監査計画

吉武監事より資料10に基づき、令和5年度監事監査計画について報告された。

(4) 大学共同利用機関法人における会計監査人の選任について

吉武監事より資料11に基づき、大学共同利用機関法人における会計監査人の選任について報告された。

○ ROISの新たな挑戦シリーズ 第1弾 (国立極地研究所)

中村国立極地研究所長より資料に基づき、研究所における取組み及び新たな挑戦等について発表された。

(意見概要)

○観測をするとなると、センサーも開発しなければならず、そうすると、やはりデータベースが必要となるが、そこへどうやって入れていくか。それを世界中で作って、扱って、地球環境がどうなっていくか、北極の重要性がどうなるか。その辺りについて、中村所長をはじめ、極地研にリードしてもらいたい。

○国際連携拠点というところで、やはり現地の方々との間でどういう関係を築いていくかが、経済的な意味でも今後重要になってくる可能性がある。ぜひこの辺りの情報もどんどん出していただくと、極域における日本の貢献をアピール出来るのではないかと。

○DXによる業務変革の推進は非常に重要。機構はこういうDXによる業務変革というのをぜひ、リーダーシップを取って、先頭に立ってやっていただければ。他の国立大学も取組みを見習えるようなものをぜひお願いしたい。

○韓国が日本よりも予算も多くて、冬基地が二つもあるのはなぜか？

→実は中国も韓国も日本が指導して南極観測を始めたところだが、韓国は国際的なところに出ていって、何かプレゼンスを示すというところが非常に上手。それから、国際会議もわれわれも一応国際対応の質は作っているが、日本の極地研の人員の量に比べて、韓国は恐らく4~5倍ぐらいある印象。とにかく外へ行ってプレゼンスを示すということのプライオリティーが高いのだと思われる。

○極地の観測が、地球全体の変動に対して、極めて感度が高い、敏感だという話は非常に重要。そのため、そこでの情報、データを積み上げることが、人類史的に見ても、今ものすごく重要なタイミングになっているので、今まさに加速することが、データ科学、予測科学とも組み合わせて、極めて効果的であると考えられる。まさに喜連川先生が機構長になってる中で、これを機構全体として盛り上げていく重要なタイミングだと思われる。

○温暖化が加速していることに対して、今予測科学が急速に進歩し、コンピューテーションのパワーも上がっているので、それに対して限られたデータに対してもより信頼性の高い予言が出来るようになってきている。そういった今のトレンドを捉えて、地球全体の課題に対して、アカデミックなパスを通じて、テンションを落としていく、緊張を緩めていくというような活動が大切だという主張は、データ科学を主導するROISのテーマとしても極めて重要であることと、アカデミックネットワークの意味付け、それを明確化する上でも、非常に重要なかつ緊急のテーマになり得るという気がしている。

○データのリアルタイム処理とか、大規模計算機にデータを引き渡すといった時に、今の通信速度だと足りないと思われるが、広帯域化しなければならないといった話であれば、やはり国際プロジェクト的な形になるのではないかと。

○女性研究者がすごく活躍されて、さらに採用もされるということで、とてもうれしく思うが、引き続きアピールして、比率を上げてほしい。韓国の研究者が増えていると話

があったが、女性研究者も韓国のほうが今はずっと多くなってるので、ぜひともこの分野でも頑張っていたきたい。

(次回の経営協議会の日程について)

- ・次回の経営協議会は、令和5年10月23日(月)15:30から開催の予定。

以上

《配付資料》

- ・前回議事要旨
- ・大学共同利用機関法人について
- ・【資料1-1】情報・システム研究機構組織運営規則の一部改正について
- ・【資料1-2】新旧対照表(案)組織運営規則
- ・【資料2-1】役員退職手当に関する業務勘案率について
- ・【資料2-2】役員退職手当規程
- ・【資料3-1】情報・システム研究機構職員就業規則の一部改正について
- ・【資料3-2】事務職員・技術職員の定年引上げ等について
- ・【資料3-3】新旧対照表(案)就業規則等
- ・【資料4-1】情報・システム研究機構特定有期雇用職員就業規則の一部改正について
- ・【資料4-2】研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業
- ・【資料4-3】新旧対照表(案)特定有期雇用職員就業規則
- ・【資料 5】令和6年度概算要求事項(案)
- ・【資料6-1】令和4事業年度決算概要
- ・【資料6-2】令和4事業年度財務諸表(案)
- ・【資料7-1】第4期中期計画の自己点検評価の概要
- ・【資料7-2】令和4年度自己点検評価報告(案)
- ・【資料8-1】意欲的な評価指標の指定に係る判定
- ・【資料8-2】意欲的な評価指標の指定に係る基本的な考え方について
- ・【資料8-3】意欲的な評価指標の指定に至らなかった評価指標一覧
- ・【資料9-1】令和4年度監査報告
- ・【資料9-2】令和4年度監査意見書
- ・【資料 10】令和5年度監査計画書
- ・【資料 11】会計監査人の選任について(通知)
- ・【参考 1】情報・システム研究機構経営協議会規則
- ・【参考 2】情報・システム研究機構経営協議会委員